

大和川付け替え三〇〇周年記念企画展 I

絵図に描かれた

大和川

大和川水系ミュージアムネットワーク参加館

大阪府立狭山池博物館・大阪歴史博物館・堺市博物館

大東市立歴史民俗資料館・松原市民ふるさとぴあプラザ

八尾市立歴史民俗資料館・柏原市立歴史資料館

二〇〇四年三月二四日(水)から
六月一三日(日)まで

堤切所之覚付箋図

柏原市立歴史資料館

開館 九時三〇分から一六時

休館 月・火曜日・祝日

入館 無料

交通 JR大和路線高井田駅から徒歩五分
近鉄大阪線国分駅から徒歩十五分

大阪府柏原市高井田一五九八一

電話 〇七二九・七六一三四三〇



築留樋前堀関仕形絵図

大和川付け替え300周年記念企画展 I

「絵図に描かれた大和川」

大阪の人に親しまれている大和川。この大和川が、江戸時代に付け替えられた人工の川だということをご存知でしょうか。付け替えまでの大和川は、柏原市役所の前からまっすぐ北に向かって流れ、その先で何本もの川に分かれて、北または北西に向かって流れて淀川に注いでいたのです。しかし、繰り返される洪水の被害を防ぐために、柏原市役所の前から大阪湾に向かって西へと流れを付け替えたのです。

その大和川が付け替えられたのが宝永元年（1704）のことです。ですから、今年は付け替えから300周年ということになります。そこで、柏原市立歴史資料館では、大和川に関連する企画展を3回連続で、12月まで開催することにしました。

まず第一回めは「絵図に描かれた大和川」と題して、大和川を描いた絵図を展示しています。付け替え前の大和川、付け替え工事と大和川、付け替え後の大和川を比較することによって、大和川がどのように変遷していったのかを理解していただきたいと思います。また、その背後にある洪水に苦しむ人々、付け替え工事に関わった人々、付け替え後に苦勞することになった人々のことについても考えていただきたいと思います。

引き続き、当館では下記のような企画展を計画しています。この機会に、みなさんも身近な大和川について考えてみませんか。

大和川付け替え300周年記念企画展Ⅱ「大和川を掘る」 7月10日～8月29日

発掘調査結果からみた新旧大和川についての展示です。

大和川付け替え300周年記念企画展Ⅲ「つけかえから300年」 9月22日～12月5日

大和川の付け替え工事はどのように行われたのかについての展示です。

※タイトル、内容、日程は予定ですので、詳しくは当館へご確認ください。



「大和川水系ミュージアムネットワーク」結成！

新旧の大和川水系に位置する博物館・資料館が協力して、大和川付け替え300周年記念事業に取り組むことになりました。これから1年間、各館で特別展や企画展として大和川が取り上げられるだけでなく、講演会や見学会なども開催され、お互いに協力して活動していくことになりました。ネットワークとしての共同事業も計画中です。お楽しみにしてください。詳しい情報は、今後お知らせしていきます。ぜひお近くの博物館・資料館へも足を運んでください。

「大和川水系ミュージアムネットワーク」参加館

大阪府立狭山池博物館、大阪歴史博物館、堺市博物館、大東市立歴史民俗資料館、松原市民ふるさとぴあプラザ、八尾市立歴史民俗資料館、柏原市立歴史資料館